

| 学校運営計画  |       | 評価  |        |
|---|-------|---|--------|
| 学校運営方針  | 具体的目標 | 具体的方策   | 評価(3月) |
| <b>昨年度の成果と課題</b><br>(成果)「第37回豊かな海づくり大会福岡大会」が宗像市鐘崎で開催され、県内唯一の水産高校であり、開催地地元の高校として積極的な参加を推進できた。体験航海や体験入学をはじめ、さまざまな地域交流により、本校の特色化・活性化をアピールすることで、中学校や地域から信頼される学校づくりを進めることができた。地域行事などに積極的に参加することで、本校の魅力をアピールすることができた。基礎学力の定着と資格取得を啓発することで就職、進学希望進路実現を達成することができた。漁協と連携することで本校教育の成果が地域振興に寄与している。<br>(課題) いじめの未然防止に取り組み、生徒一人一人が安心・安全で「居場所」のある学校生活ができる学校づくりを推進する。基礎学力の定着、向上のために毎日15分間の「朝学習」において、きめ細かな指導を粘り強く行うことで、生徒一人一人の進路を実現する。「海に学び 食に学ぶ 水高」のもと、生徒一人一人が輝くことができる船舶職員、水産、海洋関連業界、食品関連業界などへの人材を育成する。 |       | <b>具体的目標</b><br>基礎・基本的な知識や技術の確実な習得と主体的、対話的で深い学びの実現<br>主体的、対話的で深い学びの実現<br>各種帳簿の適切な管理<br>生徒指導部 生徒指導課<br>いじめを許さない学校づくり<br>基本的な生活習慣の確立<br>生徒会活動の充実<br>進路部 進路指導課<br>就職・進学決定100%<br>企業訪問の実施 社会人講話の実施<br>資格取得の推進<br>第1学年<br>基本的な生活習慣の確立と問題行動の防止に努める<br>授業規律の確立と成績不振者の指導徹底を図る<br>学年団の連携を徹底する<br>第2学年<br>水高生としての帰属意識を養う<br>進路先(就職・進学等)の検討と進路先に応じた資格取得の推進<br>基本的な学習環境を重視する<br>第3学年<br>基本的な生活学習習慣の確立と社会性を身につけさせる<br>進路決定100%を実現する<br>水高生としての自覚を持ち、水産業各分野の専門性を高める<br>教務部 企画広報課<br>マナー日本一水高を目指した行事の運営<br>生徒の自尊感情・向上心・チャレンジ精神を高める広報<br>PTA活動等を通じた学校と家庭・地域社会と連携<br>生徒部 保健環境課<br>保健に関する情報の発信と環境衛生保全のための確認、報告<br>校内及び学校周辺の美化を推進、教育環境を整える<br>保健指導、生徒の心身の健康保持増進、健康把握と基本的な生活習慣の確立<br>進路部 研修図書課<br>校内職員研修の内容の精選と円滑な運営<br>効果的な授業改善と評価の改善<br>図書貸し出し冊数及び、図書館利用の増加<br>海洋科 航海コース<br>将来の船員としての必要な力を身につけさせる<br>3年間を見通し、計画的に希望進路を実現させる<br>船舶職員養成施設の充実を図る<br>海洋科 機関コース<br>安全教育の徹底<br>資格取得の促進<br>船舶職員養成施設の充実を図る<br>海洋科 マリン技術コース<br>全員に有効な潜水資格を取得させる<br>パディシステムを確立し共助心を育成する<br>進路開拓(潜水会社)を進める<br>食品流通科<br>学習への意欲・目標を持たせ、食品に関する知識を習得させる。<br>他者とのコミュニケーション能力取得を目的とし、社会での実践能力を身につける。<br>新商品の販売。<br>アクアライフ科<br>学習に対する目標や意欲を持たせ、漁業・養殖業に関する技術および知識を確実に身に付けさせる。<br>挨拶・身だしなみ・言葉遣い、安全意識等に関して、社会人・水産人として必要不可欠な資質を身に付けさせる。<br>生徒一人一人の夢を実現させるため、早い段階から進路指導を行う。  |        |
|   |       | <b>具体的方策</b><br>チャイムtoチャイムを徹底し、規律ある授業を行う。<br>家庭学習の習慣化を図る。<br>アクティブラーニングなどを活用した生徒がわかる授業を展開できるように授業改善を行う。<br>新学習指導要領の実施に伴い各科の特色を生かしたカリキュラム編成の検証。<br>教科担当学会議などを活用した生徒の情報共有を徹底する。<br>各種データの活用を積極的にに行い、正確なデータの把握に努める。<br>月1回のアンケート調査の実施及び生徒の言動、小さな変化にも教職員が目配り、いじめ早期発見・早期対応を行う。<br>いじめ未然防止に向けて全職員の共通理解の下で生徒の「絆づくり」「居場所づくり」を目指す。<br>服装・頭髪検査を月に1回実施し、身だしなみ意識の向上を図る。<br>登下校、授業の開始終了時等、全教職員で、質の高い挨拶を追求し、指導する。<br>生徒会活動及び委員会活動の充実により、生徒自らの行動意識を高める。<br>部活動間で協力し、全教職員で部活動の活性化を図る。<br>卒業後の自分の姿を描けるようにするため、卒業生講話を実施する。<br>進学希望者への学習習慣をつけるため、3年生の放課後学習会を実施する。<br>企業の情報(人物像・就業内容)を得るため、1学期・3学期に企業訪問を実施する。<br>各専門分野の魅力や技術を知るため、社会人講話を実施する。<br>自分の進路に合った、資格の取得を行うため、年間の資格取得スケジュールを提示する。<br>資格取得優良者を表彰する。(マリンマイスター制度の活用)<br>欠席、遅刻、早退の防止に努める。年間10日以内とする。<br>規範意識を身につけさせ、問題行動の防止に努める。<br>授業前に教室の環境整備及び服装点検を行う。<br>生徒指導課、教務課と連携し、指導の徹底を図る。<br>毎朝学年の打ち合わせを実施し連絡事項を確認する。<br>毎週一回担任会議を実施し、生徒の動向把握に努める。<br>学校行事を通じて、水高生としての帰属意識を持たせ、協力する姿勢を持たせる<br>学校や社会、地域に対するプラスイメージを持たせる<br>作文指導を2学期頃から行い、履歴書や願書作成の下地をつくる<br>進路先を検討し、それぞれに応じた有効な資格取得を勧める<br>授業規律を徹底し、授業の妨害と疑われる行為や環境を作らない<br>「机につく、黙って話を聞く、ノートをとる、寝ない」という基本的な授業環境をつくる<br>欠席、遅刻、早退の防止に努める。特に無断欠席を防止する。<br>授業中はもちろん、家庭での学習習慣を育成する。<br>進路希望先を明確にさせ年間スケジュールに沿った具体的な目標を設定させる。<br>進路先と希望生徒との相性などを考慮した進路指導を行う。<br>水産業界で生き抜く力として資格取得を促す。<br>科やコースの特色を葆ちながら、学年として統率がとれた運営を行う。<br>式典・学校行事等を円滑に運営し生徒の水高生としての自覚およびマナー向上の一助とする<br>生徒のやる気・向上心を引き出す表彰式の運営(褒賞規定の定着)<br>ホームページ更新・水高PRポスター(水高端)の作成掲示を速やかに「今頑張っている水高生」を伝える<br>水産高の特色ある学校行事等の外部への広報(福津市等)<br>PTAと共に生徒の心身の育成を図る(行事でのサポート体制の確立)<br>PTA活動(役員会・総会)・同窓会行事の運営のサポート<br>生徒保健委員会を指導し、月一回の保健便りの発行を行う。<br>環境衛生検査(水質・照度検査等)を実施し、各場所での保全に努める。<br>学期に一回校内の掃除が行き届いていない場所や破損箇所を集約し、改善を図る。<br>定期的に校内や学校周辺を巡回し、教育環境を整える。<br>インフルエンザ等感染症の予防、早期対応を適切に推進する。<br>生徒の心身の健康を把握し、スクールカウンセラー等と協力し生徒の学校生活を支える。<br>拡大学年会議(教科担当学会議)を事例研究として研修に位置づける。<br>生徒の安全管理に関わる内容や、水産に関連した研修を取り入れる。<br>専門研修講座への参加奨励。<br>相互参観授業期間の充実。<br>図書館オリエンテーション(1年生)や水高祭企画の実施。<br>図書館利用しやすい環境を作ると同時に、利用マナーの向上を図る。<br>海技士国家試験(筆記)合格者を複数出す。<br>乗船前指導、乗船後の指導を継続して行うことにより乗船実習を爽りあるものとする。<br>船員としての適性を考慮した効果的なコース選択の道筋をつける。<br>船員への就職率75%、そのうち漁船員就職率20%を目指す。<br>GSS監査の準備を通し、養成施設のPDCAシステムを確立させる。<br>海友丸運航計画を見直すとともに、将来の代船建運へ向けに学内意見をまとめる。<br>実習前の服装、保護具の着用をしっかりと身につけさせる。<br>整理整頓を徹底させる。<br>機関コースで取得できる資格について、利点等を説明する。<br>放課後補講を行い、多くの生徒が資格を取得出来るように指導する。<br>GSS監査の準備を通し、養成施設のPDCAシステムを確立させる。<br>海友丸運航計画を見直すとともに、将来の代船建運へ向けに学内意見をまとめる。<br>潜水士および中級実技資格については全員取得させる<br>上級実技資格については生徒各自の進路先に合わせて取得させる<br>実習前の健康調査や器材点検等バイチェックを徹底し自助と共助の心を育む<br>潜水器材についてはパディ単位での管理を徹底し物を大切にすることを育てる<br>会社訪問を行い大半の生徒が就職を希望する潜水会社への進路を確保する<br>既に生徒たちが就職している進路先との連携を強化する<br>資格取得を計画的におこなう。<br>科への所属意識を高め、職業人としての資質を身につける。<br>課題研究・水産クラブ活動を計画的に実施。<br>シラバス等を活用し、授業や実習の目的を事前に明確にする。<br>挨拶・服装・言葉遣い・時間厳守の指導を徹底する。<br>卒業後の進路を早い段階で明確にさせ、個々に合った適切な指導を行う。 |        |
| <b>評価項目</b>   |       | <b>次年度の主な課題</b>   |        |